

早期発見のために、がん検診を受けよう！

～がん経験者からのメッセージ～

- 自分は大丈夫！！と思っていた私が、がんに…。何一つ病気知らずの元気いっぱいの身体でした。早くに見つければ、後の治療も短期間で終了。「がん」は 治る病気になっていますよ！！
- 早期発見だと、身体にもお金にも時間にも負担が少なく、家族の負担も少ないです。病気になることは本当に大変です。自分だけでなく家族にも、がん検診をおすすめします。

(福井県の「がん患者アピランスサポート事業の利用者に対するアンケート」より)

やんにゃんのオススメ



福井県丹南健康福祉センター
広報マスコットキャラクター
“たんにゃん”

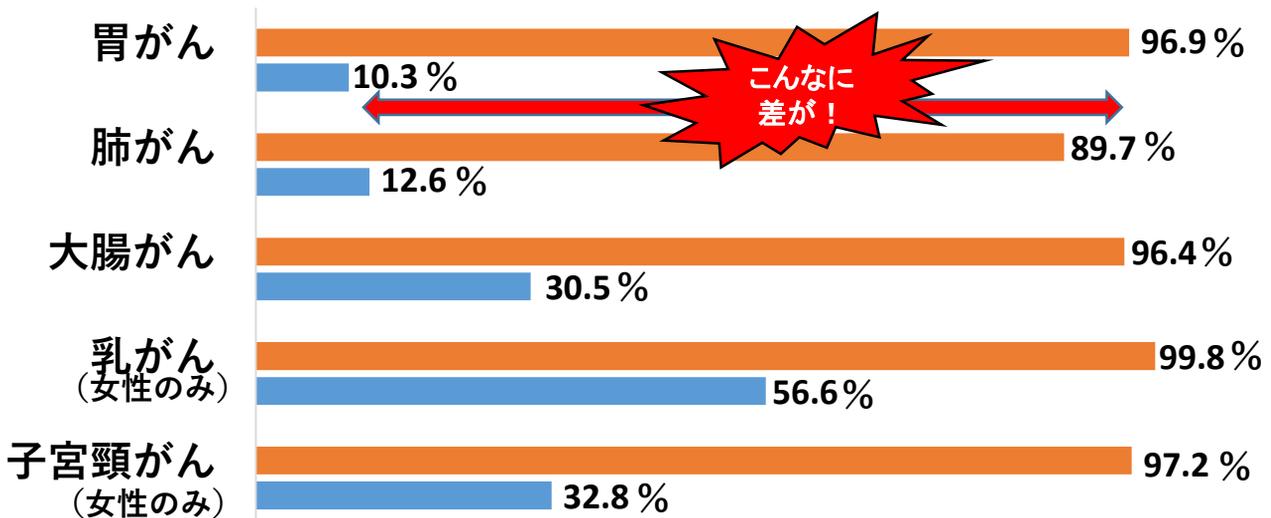
がんの生存率は、1990年代後半から伸び続けており、治療の進歩やがん検診の普及などが貢献したとみられています。今年8月に発表された国立がん研究センターの調査では、がんが早期に診断された「Ⅰ期」で、3年後の生存率は約90%以上ですが、他の部位に転移した「Ⅳ期」の3年後の生存率は、約10～57%と低くなることが確認されました。

がんは、早期に発見し、すぐに治療を始めることが重要です。

3年相対生存率※

■ Ⅰ期 ■ Ⅳ期

※がんと診断された人のうち、3年後に生存している人の割合（がん以外による死亡は除く）



出典：がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012年3年生存率集計

ポイント！

早期のがんは、自覚症状がないことがほとんどです。早期発見のために、

自覚症状がなくても定期的にがん検診を受けましょう！